

各地区の伝統行事など



白岩 喜義さん
(樋渡地区)

■花火大会(狐田・過足地区)
(影山) 狐田では、となりの過足地区と一緒に老人会で親水公園で、毎年花火をあげているよ。消防と子供たちも集まって盛大にやっているね。かなり前からやっていると聞いているよ。

■地蔵様祭(過足地区)

(過足) 過足では、秋祭りとして10月頃に地蔵様祭というのがあるよ。これは仏の祭りなんだけど、病氣や怪我をしないように元気で丈夫に育つようにと和尚さんがご祈祷してくれるんだよ。

子育て地蔵というのもあった、人形が7体か8体あるのかな。子供がほしい家庭や妊婦さんたちが人形を借りていくんだよ。そして、無事に子どもが生まれたら、自分で着物を縫って、人形に着せて返すんだよ。そうすることで、その子どもが病氣や怪我をしないで大きく育つと言われていてね。今も借りていく方が結構いるね。

■柴原獅子舞・樋渡三匹獅子舞(柴原・樋渡地区)

(阿部) 柴原では、毎年元旦に家内安全と無病息災を祈願する悪魔祓いで獅子舞をやっているよ。青年会でやっているんだけど、若い人がいなくて、困っているんだよ。

(事務局長) 樋渡も昔、獅子舞で*まちづくりで表彰されたよ。

(白岩) それは、11月の祭りの三匹獅子だよ。

今も続いているよ。正月の獅子舞とは違うけどね。子供がいらないから、青年会が保存会というかたちで踊っている。自分も小学3年生からやっていたからね。

― 伝統行事は、伝えていくことが大変だと聞きますが。

(白岩) やっぱ大変だよ。今は保存会というのを地区で作っていてね。昔は小学生と中学生でやっていたけど、今は、地区に中学生が1人しかいないから、保存会で獅子舞を踊るようにしているよ。そうじゃないと部落が小さいから難しいね。でも樋渡は、小さいなりに意外と昔のものを引き継いでいるほうだと思うよ。

― 部落が小さくても昔のものを引き継いで来たのはどうしてですか？

(白岩) 地区でまとまりがあるんじゃないかな。何をやるにしても、必ず全戸が参加してくれる。やっぱ、それが一番かな。みんなが協力するから、いろんなものが残っていくんだよ。

でも、やっぱ、地域から出てってしまう人も中にはいるけど。

(渡辺) 私は秋田から、こちらにきて、まだ10年くらいだけど、このあたりは、いいところですよ。私はずっと寒いところからだから冬は特にいいですね。東北は、岩手も秋田も青森もそうですけど、ものすごく冬は厳しいですからね。このあたりも冷えますよ。



過足 利夫さん
(過足地区)

追憶の溪流・蛇神様



柳沼 吉一さん
(蛇石地区)

柳沼吉一さん(蛇石)は、中郷地区の歴史やダム埋没前の風景を残し、みんなに憶えておいてもらおうと、自宅の近くに「追憶の溪流」と題した写真展を開いています。

室内には、ダム埋没前の風景写真などが展示されており、自由に見学することができます。

また、昔この地域には、蛇石という地名の由来となった大蛇がいたと言われているそうです。柳沼さんには、大蛇と戦った様子が描かれている王子神社と退治された大蛇が埋められているとされる大石に案内していただきました。柳沼さんは、地域の言い伝えや歴史を残そうと冊子も作っており、次の世代に伝えていきたいと話されていました。



蛇神様は、大蛇と戦った様子が描かれています。(上) 大蛇が埋められている大石(左)

これからの中郷づくり



宗像 正英さん
(中郷まちづくり協会長)

(協会長) 中郷地区は、一番ダムの影響を受けているよ。特に蛇石地区は、ダムができたことで、地区が破算になっているからね。ダムができる前は50戸以上世帯があったんだけど、ダムに沈んでからは、一番少ないときで12、13戸まで減ったときもある。今は、17戸、少しは増えてきたけど。

でも、やっぱ、地区の戸数が12、13戸になると、すべての伝統行事が、ご破算になってしまうよ。正直なところ、これらの地域づくりは、現状をどのように維持していくかが課題だと思う。土地だって、部落だって、今のままでは、戸数が減っていくことは明らかだからね。

(武田) 農業も、今50、60代の人やっている人がいるところは続くけど、それ以下の年代の人で農業をやる人はいないんじゃないかな。あと20年過ぎたらどうなるかな。(協会長) 農業も含めて、伝統行事や地域を守っていくのは、やはり人なので、今後の中郷のまちづくりを進めていくにしても、地域に住む一人ひとりが参加できる、地域を考えることができる、まちづくり活動に取り組んで行きたいね。

― みんなが中心となるまちづくり活動を進めていきたいですね。本日は、取材にご協力いただき、ありがとうございました。

取材にご協力いただいた中郷地区のみなさん、ありがとうございました。

※ 柴原青年会(悪魔祓い)・樋渡三匹獅子舞保存会
平成17年に三春町まちづくり賞(文化活動の部)を受賞されています。